安心は敵。

イギリス・ルネサンス演劇を代表する劇作家であり詩人のウィリアム・シェイクスピアは、「安心、それが人間の最も身近にいる敵である」という言葉を残しました。物事が順調にいっている時ほど人は新しいことや今をさらによくするような事を考えなくなってしまうものです。安心・安定に甘えてしまい、迫っている小さな危機や些細だけれど将来に悪影響を及ぼし兼ねない綻びに気づけなくなってしまいます。「自分は安定しているから」「景気の影響をあまり受けていないから」と目をつぶってしまっては、いつか足元を掬われてしまいます。順調にいっている時ほど将来のピンチの元を刈り取る大事な時であり、新たな種を蒔く最大の機会でもあります。不景気下において「世の中の人は大変だけれど自分はまだ大丈夫だから安心だ」と考えるのではなく、次のステージへ進むための準備を心がけていきましょう。今、蒔いた種は将来的にきっと花開きます。たとえ良い結果にならなくてもその種を蒔いた経験は、先へと繋がる大きな糧となるでしょう。安心・安定にあぐらをかいてしまうことなく、余裕がある時だからこそ、未来のための準備をすること、自分の武器を磨くことを忘れないでください。その姿勢を持ち続ける人が望んだ夢をすべて実現することができる本物のコマースリアルターであり続けることができるのです。安心や安定を目標にするのではなく、安心を敵として考え続けることが結果として安心・安定を生み出します。